



# やらまいか

クラブテーマ：参加して、行動して、ロータリーを楽しむ Let's Enjoy Rotary

会長/大木健市 幹事/林 博宣 会報委員会/中西弘徳・宇野秀幸 例会/毎週火曜日 12:30 豊川商工会議所  
事務局/豊川市豊川町辺通 44 豊川商工会議所会館内 TEL0533-86-2535 FAX0533-86-8889 HP/<http://toyokawahoi.tank.jp>

本年度第42回 通算1526回 平成30年5月15日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	4/24 修正出席率
		66名	36名	58.1%	98.4%

ゲスト：陸上自衛隊豊川駐屯地司令 一等陸佐 伊藤久史さん 同 司令職務室 浅野真理さん

ビジター：伊藤靖祐ガバナーノミニー 南村朋幸 2019-20 地区幹事 永田広光 2019-20 地区事務長 メークアップ受付12名

## ★黙とう

5月15日早朝に逝去された度会尚志会員のご冥福をお祈りして例会に先立ち、出席者全員で黙とうを行いました。

## ★会長あいさつ

### 大木健市会長



皆さん、こんにちは。本日は伊藤ガバナーノミニーを始め、江南 RC の皆様には遠路よりお越し頂きまして誠にありがとうございます。

ございます。

先週は、親睦委員会の皆様のお骨折りにより春の行楽を楽しくさせて頂きました。1年間、色々な企画をして頂きましてありがとうございました。

冒頭で黙祷をして頂きましたが、度会尚志会員が亡くなられたという訃報が届きました。先日の行楽でも楽しくお話をさせて頂き、美味しそうに“ひつまぶし”を食べていました。あまりの急報で信じられない気持ちでいっぱいです。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

本日は、陸上自衛隊豊川駐屯地の伊藤司令にお話を頂きます。どうぞ宜しくお願いします。

## ★幹事報告

### 林 博宣幹事

度会会員の通夜・葬儀について  
次回例会について

## ★伊藤靖祐ガバナーノミニーご挨拶



豊川宝飯 RC の皆様こんにちは。まず度会会員のご訃報をお悔やみ申し上げます。度会会員には、2月に江南

RCにも実行委員会のメンバーとして来て頂きました。私も本日ここへ来て知りまして驚いております。ご冥福をお祈り致します。

本日は、皆様にご挨拶及びお願いに参りました。次年度の地区研修協議会を豊川宝飯 RC の皆様に開催して頂くと言う運びになりました。私も心から皆様をお願いを申し上げたいと思ひまして、一言ご挨拶に参りました。

まもなく、日本のロータリーも100周年を2020年に迎えます。その前年が私のガバナー年度になります。そういった意味でもロータリーを掘り下げ、そのための研修会を充実したものに豊川宝飯 RC の皆さんにお願いしたいと思っております。

この研修協議会は、中身は地区の研修委員会が担当します。設営に関しましては、豊川宝飯 RC の皆さんにお願いをするという形になります。

私たちは愛知県の端と端になりますが、連絡を密にさせて頂きまして、私たちの地区研修協議会を成功裡に納めたいと思っております。今日はとてもお天気の良い日です。高桑さ

んにクラブ持って来なかったのかと言われました。とても心が温かい言葉です。この温かい気持ちが私は何よりも嬉しく思いました。これから一緒にやっけていくんだと言う大きな自信になりました。豊川宝飯 RC の皆さんと共に、充実した研修会を、そして豊川宝飯 RC と江南 RC らしさを出して良い研修会にしたいと思っています。どうか、宜しく願い申し上げます。本日はありがとうございました。

## ★外部講師の卓話

### 「陸上自衛隊の災害派遣について」

陸上自衛隊 豊川駐屯地司令

一等陸佐 伊藤久史氏



皆様、こんにちは。豊川駐屯地の伊藤です。度会さんの訃報を聞きまして非常に驚きました。ご冥福をお祈りしたいと思います。度会さんと豊川自衛隊との関係は、豊川自衛隊協会の副会長をして頂いておりました。地域から我々のことを支えて頂いておりました。本日、この席に立っておりますのも度会さんのお計らいがあつてのことです。今日もご出席されると聞いておりましたので、本当に残念でなりません。

本日は「陸上自衛隊の災害派遣について」お話をさせていただきます。まず自衛隊の概要と豊川駐屯地の概要、そして災害派遣の活動について、皆さんに知って頂きたいと思っております。

まず、自衛隊の任務ですが、自衛隊法3条に「自衛隊は、我が国の平和と独立を守り、国の安全を保つため、我が国を防衛することを主たる任務とし、必要に応じ、公共の秩序の維持に当たるものとする。」と定められていま

す。具体的な任務は主たる任務である防衛出動で、敵が攻めて来た時に国を防衛します。その次に従たる任務として災害派遣、地震防災派遣、原子力災害派遣などの任務があります。

次に、陸上自衛隊は、機能ごとに組織（職種）が15コに分かれております。具体的には、普通科、機甲科、野戦特科、高射特科、航空科、施設科、通信科、武器科、需品科、輸送科、化学科、警務科、会計科、衛生科、音楽科があり、私の部隊は「野戦特科」、昔で言うところの「砲兵」になります。

防衛省の組織としては、陸海空自衛隊と統幕の横並びの組織となっています。それぞれの組織の人数ですが、陸上は16万人、海上は約5万人、航空も約5万人です。

陸上自衛隊は全国を5つの方面隊に分けています。豊川駐屯地は中部方面隊の中の第10師団に所属しています。中部方面隊は、東は愛知県一富山県から西は四国を含み山口県までとかなり広い地域が管轄となります。そして、豊川駐屯地が所属している第10師団は、東海、北陸6県の防衛、警備、災害派遣を担当し、第10特科連隊は、その中の愛知県東部を担当しています。

豊川駐屯地は、旧海軍工廠の跡地を利用しています。駐屯地には、約1600人の隊員がおり、駐屯地の中に13コの部隊が入っています。第10特科連隊は約600人の隊員がおり、一番部隊が大きいので、代表して駐屯地司令職を私が拝命をしております。よって、私が駐屯している他の部隊に対しては指揮関係がないので、何か命令をすることは出来ません。私は第10特科連隊の600人の隊員にしか命令が出来ない。それぞれの指揮官の立場は同格です。ただ、緊急の災害派遣の場合のみ、司令である私に一時的に指揮権が発生します。

次に駐屯地各部隊の簡単な紹介ですが、第10特科連隊は、155mmりゅう弾砲（FH-70）を装備する野戦特科部隊です。この「FH-70」の「70」は1970年の「70」です。相当古い大砲です。

第6施設群は、仮設の橋を作ったり、道路を整備したり、あるいは地雷を撒いたり、施設を壊したりする部隊です。PKOでも活躍している部隊です。

第49普通科部隊は、歩兵の部隊です。小銃や機関銃の他に対戦車ミサイルや迫撃砲が装備されています。ここは普通の自衛官では無

くて、何かあった時に招集される即応予備自衛官の部隊です。

第10高射特科大隊は、敵の航空機を撃ち落とす部隊で、地对空ミサイルを保有しています。

それ以外の部隊は、我々の部隊を支えてくれる部隊となっています。

次に陸上自衛隊の各種活動について紹介します。我々陸上自衛隊は、日頃から色々な訓練をしています。例えば、同盟国である米軍との訓練や、他の方面隊の方で場所を大きく変えて訓練を行ったり、北海道や東北、北陸の部隊では、雪の中での訓練も行っています。最近では南西諸島や尖閣地域の脅威の高まりから、離島防衛の訓練も行っています。

その他、この地域は少ないですが、不発弾処理も全国各地で対応しています。更に民生支援として慰問演奏、スポーツ支援などの取り組みも行っています。

災害派遣では、風水災害、地震など、要請があれば速やかに対応しています。そして、普段から自治体との共同の救助訓練などを定期的に行い、連携を図っています。また、特殊な災害としては、新潟の給水支援、日航墜落、トンネル崩壊、鳥インフル、地下鉄サリン事件においても特殊な災害派遣として出動しています。東日本大震災における福島第一原発に対する対応も特殊な災害派遣になります。

災害派遣の活動は、全国で年間約300件発生しています。内訳としては、離島への輸送が一番多く、沖縄、奄美などが実は一番多い状況です。

派遣の種類としては、要請派遣と言って、都道府県知事から地元の自衛隊に要請されることが一般的ですが、要請派遣に至る前に被害が甚大だと判断をした場合、駐屯地司令の決断、あるいは、上司の師団長の決断により、要請がなくても派遣をすることができます。これは、阪神淡路大震災の教訓を踏まえ、とにかく人命救助を優先するという事で、「自主派遣」という枠組みが新しく出来ました。また近傍派遣は、駐屯地の近くで火災とかあった場合に、自衛隊も消防車を持っているので、直ぐに派遣して消火活動を行います。

次に陸自の即応態勢ですが、全国各地に駐屯地が160コあり、それぞれの駐屯地の全てで、24時間、365日、待機をしています。その人数は全国で常時約4千名、車両約1千両、

ヘリ約40機です。

豊川駐屯地の待機態勢としては、常時約30名、車両10両が常にスタンバイしている状況です。災害等が発生すれば、直ぐに偵察、情報収集をするために出すことができます。その後、被害が甚大、あるいは人命救助が必要となれば、100名、200名、300名と逐次、部隊を増強して対応をしていきます。

東日本大震災の時に第10特科連隊も現地で活動をしましたので、その活動を紹介します。皆さんもご存知の様に震度7の大津波を伴う地震が起きました。特色は、津波、原子力災害、自治体の機能喪失でした。陸上自衛隊そのものの活動としては、延べ320万人、車両95万、航空機1500機という状況でした。豊川駐屯地の各部隊の活動としては、3月11日14時46分に地震が発生して、次の日の夜中に出発し、宮城県の一歩南側の福島県との県境に近い山元町を中心として各地域に豊川駐屯地の各部隊が災害派遣活動を開始しました。発生当初は主に行方不明者の捜索を行い、ガレキの中で声を掛けながら捜索をしました。津波の海水が引かない中で、水に浸かって捜索だったので胴長の補給をうけましたが、全員に行き届かなかったため水に濡れながら捜索をした隊員もいました。そして、我々は半長靴という頑丈な靴を履いているのですが、津波により倒壊した建物等の膨大なガレキの中には、釘などのとがったものが多く足の裏から靴底を突き抜けて、怪我をした隊員もいたと聞いております。また捜索活動と並行して、被災者の生活支援も行いました。お風呂は、とても人気だったと聞いております。音楽隊による慰問演奏も行いました。被災者の人は音楽なんて聞いている気分ではないのではないかと思ったのですが、それは逆で、継続的なストレスを受け続ける状況で、音楽演奏が多く被災者の心を慰めたと言うことで、私も勉強になりました。少し時間が経ってからですが、被災者の要望を聞いて、思い出の品やアルバムなどをガレキから探す作業も行いました。

さて、豊川駐屯地としては、自治体と色々な連携を取ろうと工夫をしております。各市町村と、日頃から防災訓練や防災会議等に積極的に参加して、顔の見える関係を作っています。県の情報通信ネットワーク、具体的にはパソコンの専用端末が豊川駐屯地にも1台ありまして、県が掌握している色々な気象情



報を我々もリアルタイムで見られるようになっていっています。河川の水位が上がっている所なども、だいたい共有できています。国交省の河川事務所等とも連携を取っております。先日、豊橋河川事務所が開催した水防災サミットにも参加をして、連携をより深めています。

豊川駐屯地としては、三河地域の皆様の安全安心のために引き続き、全力で各種任務に取り組んで参りたいと思っております。今後とも、ご理解ご協力をお願いします。

最後に「天災は忘れた頃にやってくる」これは明治の物理学者で随筆家の寺田寅彦の言葉ですが、いつ来るか分からない災害のために日頃から防災意識を高めることが必要です。特にここ最近、天災は忘れる前にやってくるので、それぞれ備えをして頂きたいと思っております。防災の基本は自分の事は自分で守る「自助」そして、近所や地域の人々で助け合う「共助」が基本です。それをカバーする形で警察、消防、我々自衛隊等の「公助」があります。これを覚えて頂きたいと思っております。

### ★ニコニコボックス

伊藤靖祐さん 次年度地区研修協議会の  
南村朋幸さん お願いに参りました  
永田広光さん 〃  
夏目雅康会員 3名の皆さんの来訪を歓迎  
高桑 耐会員 〃

### ★伊藤ガバナーノミニーとの打合せ会

5月15日例会終了後に2回目の伊藤ガバナーノミニーとの打合せ会を開催しました。2019年4月開催に向けて、仲良く連絡を密にして開催に向けての準備を進めて行きましようとの確認をしました。



### ★国際ロータリーニュース

この度、ローラ・ブッシュ元米大統領夫人がトロントで開かれる2018年ロータリー国際大会で講演することが決まりました。



ローラ夫人はこれまで長年にわたり、識字率向上と教育、女性の権利など、米国や世界が抱える課題に取り組んできました。国内外での画期的な教育プログラムや医療プログラムを立ち上げたほか、テキサスでのブックフェスティバルとワシントンDCでの全国ブックフェスティバルを設立。また、ジョージ W. ブッシュ・インスティテュートの女性イニシアチブ委員長として、世界的な医療革新、新興民主主義における女性のエンパワメント、教育改革、米退役軍人への支援を行っています。

女性への医療にも力を注ぎ、心臓疾患が米国での女性の死亡原因のトップとなっている中、米国国立心臓・肺・血液研究所と提携して「The Heart Truth」キャンペーンと「Red Dress」プロジェクトを開始しました。同キャンペーンでは、心臓疾患のリスクについての啓発活動にあたっています。



国際大会は、6月23日～27日 カナダのトロントで開催されます。

会報担当：中西弘徳会員・宇野秀幸会員